

リブル

(株式会社ウィンブル)

1 施設の概要

定 員	就労継続支援 B 20 人
所 在 地	さいたま市岩槻区府内 1-7-71 
アクセス	岩槻駅から徒歩 25 分（無料送迎バス有） 朝日バス「府内」バス停より徒歩 3 分
連絡先	TEL : 048-720-8275 FAX : 048-720-8276 e-mail : office@rebull.jp
開設日	平成 30 年 5 月 1 日
開所日時	月・火・水・木・金 9 : 00 ~ 16 : 30



平均年齢	平均 : 43 歳 最年少 : 22 歳 最年長 : 66 歳
送迎範囲	岩槻駅、久伊豆神社、東岩槻駅
食事提供	あり（1 食あたり 420 円の負担あり）
賃金・工賃	1 コマ（50 分）あたり 150 円 ※一部屋外作業で加算あり
入 浴	なし
車 い す	なし
医療的ケア	なし
その他設備	エレベーター なし ユニバーサルシート （大人用ベッド） なし

2 施設の運営方針・理念



リブルは、岩槻区にある就労継続支援 B 型事業所で、主に精神障害を抱えた方を対象にしています。

現在は、約 30 名の利用者と、作業療法士 1 名、精神保健福祉士 2 名、支援員

3 名の計 6 名のスタッフとで内職や清掃、洗車、除草などの作業を行っています。利用者は 20 代～60 代と幅広く、全体の約 6 割が男性、約 4 割が女性です。

体調や生活リズムが整ってきたので次のステップに進みたい、働きたいけど自信がない、自立し

た生活を送りたいなどの思いを抱えた方が利用しています。

リブルでは、働く準備をしていく場所として、作業体験や職場コミュニケーション、時間やルールに合わせることなどさまざまな社会体験をすることができます。そのほか、面談等で利用者の方と話をする時間を多く作っています。そうすることでお互いのことを理解し、困りごとを気軽に相談できる環境づくりを目指しています。

リブルを利用し、体調コントロールの仕方やストレスとの付き合い方、コミュニケーションの取り方などを見つけていくことで働き続ける力をつけていけると考えています。

3 事業内容の紹介

就労継続支援 B 型

リブルでは、現時点では一般企業で就労することが難しい障害をお持ちの方に対して「働く場」を提供しています。働く体験や人の役に立つ体験を通して、自分らしい労働生活を目指します。また、就労に必要な力を身につけていくための支援を行います。

朝 9 時 30 分からのラジオ体操後、朝ミーティングにて作業内容や連絡事項の確認、目標の共有などを行います。その後、10時から作業に入ります。作業時間は50分1コマで、午前中が2コマ、午後が3コマあります。作業内容はタオルの折りたたみや尿検査容器組み立て作業などの内職作業、清掃や洗車、除草などの外で行う作業があります。作業後は全員がそれぞれ役割を担って清掃を行います。帰りのミーティングにて振り返りを共有し16時20分前後に終了となります。

1日のスケジュール	
9:15	開所
9:30～9:35	ラジオ体操
9:35～9:45	朝のミーティング
9:45～9:55	清掃、準備
10:00～10:50	作業1
10:50～11:00	休憩
11:00～11:50	作業2
11:50～12:00	整理・整頓
12:00～13:00	昼休み
13:00～13:50	作業3
13:50～14:00	休憩
14:00～14:50	作業4
14:50～15:00	休憩
15:00～15:50	作業5
15:50～16:00	整理・整頓
16:00～16:15	清掃
16:15～16:20	帰りのミーティング
16:30	閉所

4 事業の紹介写真

就労継続支援 B 型

～内職作業～

<タオル畳み作業>



汚れや破れがないか確認し、タオルを折っています。タオルの種類によって折り方が変わります。端をそろえたり、しわを伸ばしたりと丁寧さを重視して取り組んでいます。

<化粧品の一部作り>



筒の端の内側に油を塗る作業です。
ほこりが入ったり、落したり
しないよう万全の注意を払いながら
作業に取り組んでいます。

<尿検査容器組み立て作業>



検尿容器を組み立てていきます。
「バリ」という無駄な部分を取り除
き、キャップを装着します。
装置を使い、個数に過不足が無いよ
うに注意しています。

～外作業～

<洞雲寺の清掃作業>



週に1回、洞雲寺の境内を掃除
しています。主に花の管理や除
草をしています。
季節によっては落ち葉拾いな
ども行います。
また、ごみ拾いなども積極的に
行い、境内の環境整備に努めて
います。

<除草作業>



鎌などを使い綺麗にしていきます。体力は使いますが、達成感は大きく、やりがいを感じられます。

<洗車作業>



洗車の頻度は週に 1 回程です。専用のスポンジやブラシなどを使い、車体を綺麗にしています。

<イベントへの出店>



マルシェ等のイベントに参加し、ワークショップやスーパーボールすくいなどを行っています。
イベントではメンバーとスタッフで接客を行います。
イベント前にはどうしたらより良い形で出店できるのか、マルシェメンバーで話し合います。

5 施設の年間の行事



行事名：お花見
時 期：春ごろ
場 所：未定
内容：リブルスタッフとメンバーとで花見を行っています。桜を観たり穏やかな気候の中で過ごすことで季節を感じたり、軽食や散歩を通じて交流を楽しむことを目的としています。

行事名：日帰り旅行

時 期：未定

場所：メンバーと相談

内容：余暇活動の充実や参加者の親睦を深めることを目的とし、車で1～1.5 時間ほどの場所に行っています。



過去に行った所…カップヌードルミュージアム・東京スカイツリー・藤子・F・不二雄ミュージアム・国立科学博物館 等



行事名：バーベキュー大会

時 期：未定

場所：リブル敷地内

内容：リブル内でバーベキュー大会を行います。

メンバーと一緒に焼く食材を決めたり、買い出しに行きます。

準備から火起こしまで皆で一緒に行きます。



行事名：忘年会

時 期：年末

場 所：リブル敷地内

内 容：料理や雑談を楽しみながら、リブルでの一年間を振り返ります。準備やゲームなどを通じて交流が深まったり、役割を持ったりする体験に繋がっています。ゲームでは豪華賞品も用意され、毎年盛り上がっています。

行事名：その他プチイベント

時期：様々

場所：メンバーと相談

内容：大きなイベントの他にもメンバー主体のプチイベントを行っています。行きたい場所ややりたいことを募り、メンバー同士話し合って日程を調整しています。



6 施設の自慢・特色



<個別担当制>

当施設は利用者一人一人に担当スタッフがつきます。気になり事や困りごとが出てきたときに、それらを抱え込まずに相談できるような環境づくりを心がけています。

リブルの利用を通じて自分らしく生活が送れるよう、スタッフも一緒に考えていきます。



<複数の作業部屋>

当施設では、1Fは他の人と交流しながらリラックスして作業ができる部屋、2Fは静かに作業に取り組み集中できる部屋などとして、部屋ごとに機能を分けています。作業部屋が複数あることで、周囲の音や人の多さが気になる方も安心して作業ができるようにしています。



<就労勉強会>

週に一度、就労グループでの活動が行われています。就労を目指すメンバー同士で悩みを共有したり、就労のために必要な準備などを話し合う場になっています。

同じ目標を持つ者同士、意見交換や交流することによって、就労についての理解を深めたり互いに切磋琢磨する場となっています。



<意見交換会>

月一回の意見交換会を行っています。議題は主にメンバーから募っています。(スタッフが提示する場合もあります。)リブルをより良くするために、当施設を利用して起こったことや感じたことを共有する機会になっています。メンバーの意見を聞いたり、スタッフの意向を伝えたりしながら皆が働きやすい環境づくりを行っています。

7 法人が運営しているその他の施設

①	SEVEN	
	所在地	岩槻区
	施設類型・ 定員数等	共同生活援助 BLADE…7 名 FORCE…10 名 CONVERT…10 名